

2025年度年間指導計画

					園長		主任		記録者						
【4歳児】									河口千恵　駒林梨瑛						
年間目標		・保育者や友達に親しみを持ち情緒の安定をもとに、自分らしさを十分に発揮しながら、喜んで活動に取り組む。 ・全身を動かして遊ぶ楽しさを味わい、保育者や友だちとの関わりを深める。 ・身近な自然や社会の出来事に関心を持ち、見たり触れたりして心豊かに過ごす。 ・色々な経験を通じて、生活に必要な身近な言葉や優しい言葉使いを身につけていく。			園目標		・元気で明るい子（たっぷり遊んで、よく食べて、ぐっすり眠る） ・意欲を持って行動できる子（十分に育ちを見守られながら、さまざまな体験を通して、豊かな感性を育てる）			評価・反省					
期		1期（4月～5月）			2期（6月～8月）			3期（9月～12月）			4期（1月～3月）				
行事		入園・進級式、こいのぼり集会、内科健診、避難訓練、サッカー教室、親子交流会(クラス懇談会)、誕生会、身体測定			歯科健診、水遊び、七夕集会、夏祭り、誕生会、身体測定、避難訓練			運動会、内科健診、ハロウィン、クリスマス会、誕生会、身体測定、避難訓練			節分、生活発表会、ひな祭り、お別れ会、卒園式、誕生会、身体測定、避難訓練				
ねらい		・進級を喜び、新しい環境に慣れ安心して過ごす。 ・気の合う友だちや保育者と春の遊びや好きな遊びを楽しむ。			・梅雨や夏ならではの遊びを安全に思いきり楽しむ。 ・身の回りのことに進んで取り組みながら、健康や清潔を意識し、自ら快適に過ごそうとする。 ・一日の生活の流れに目通しを持ち、行動しようとする。			・友だちとイメージや目的を共有し、関わり合いを楽しむ。 ・秋の自然に触れ、植物の名前を言ったり教えたりする。 ・目的をもって行事に臨み、努力や思いやり、協力することを味わい成功や失敗を経験する。			・生活や遊びの決まりを守り、生活習慣を身に付け進級することへの自信を持つ。 ・相手の気持ちに気付き思いやる心を持つ。 ・自分なりのイメージを持って、友だちと伸び伸び表現する喜びを味わう。				
養護		生命情緒		・健康や安全の大切さを知らせ、危険や安全の約束事を確認する。 ・進級にともなう不安や期待を保育者に受け止めてもらいながら安心して過ごせるようにする。 ・思ったこと考えたことを自分の言葉で相手に伝えようとする。			・衣類の調節をこまめにして体調を崩さないようにする。 ・暑さ対策をして、日射病などにも気を付けながら水の事故防止に努める。 ・友だちとのつながりを大切にしながらお互いの良さを認め合えるようにする。 ・保育者とのやり取りを友だちを交えて楽しみ、友だちとの遊びの場を広げていく。			・子どもの発達に合わせ、全身を使う運動を多く取り入れ、体を動かす楽しさを感じる。 ・運動量が増えるので、休憩を十分に取り、体調を崩したり、怪我をしたりしないようにする。 ・行事を通して友達との関りを深めながら、徐々に自分を発揮できるようにする。 ・友だちとのつながりを大切にしながらお互いの良さを認め合えるようにする。 ・自分で活動を選択し、自発的に取り組む中で達成感や満足感を味わう。					
教育		言葉・健康・表現・人間関係・環境		・歩く、走る、跳ぶなどの全身を使った運動遊びを十分に楽しむ。 ・保育者との1対1の関わりの中でに親しみを持って安心して過ごす。 ・体操教室を通じ、様々な身体の動かし方を知ったり身体を動かす心地良さを味わう。 ・描いたり作ったりしたものを遊びに使ったり、飾ったり、見せ合ったりする。 ・新たな生活リズムや環境に自ら関わり 身の回りのことを自分で行う。 ・集団生活に必要な決まりを当番活動やグループ活動を通して知る。 ・季節歌をピアノやCDの音に合わせて歌うことやリズム遊びを楽しむ。 ・経験したことや興味のあることを話し、保育者や友だちと喜んで会話をする。 ・身近な自然、環境への関わりや遊び方を体験したり調べたりする。 ・飼育や栽培を通して身近な生き物や野菜に触れ、興味関心を持つ。			・体の健康に関心を持ち、異常を感じたときは保育者に伝える。 ・体調の変化に気づき、保育者の力も借りながら汗を拭いたり、水分補給したりする。 ・夏の遊びを楽しむ中でお互いにアイデアを出し合い友だちとの関わりを深める。 ・年上の児がやっていることに興味を持ち自分達の遊び等にも取り入れてみようとする。 ・自分のしたいことや感じたこと、経験などを保育者や友達に話し、伝える喜びを味わう。 ・イメージをした上で作る、描く、試すなどを経験し想像力を豊かにする。 又、共通のイメージをもとに遊びを楽しもうとする ・集団生活に必要な決まりを当番活動やグループ活動を通して知る。 ・人の話を聞くことや自分の考えを相手に伝えるように話すことの大切さを知る。 ・季節歌をピアノやCDの音に合わせて歌うことやリズム遊びを楽しむ。 ・経験したことや興味のあることを話し、保育者や友だちと喜んで会話をする。 ・遊びに必要なものやイメージしたものを描いたり、作ったりすることを楽しむ。 ・飼育や栽培を通して身近な生き物や野菜に触れ、興味関心を持つ。 ・危険な遊び方や場所に気付き、気を付けて過ごそうとする。			・できないことをできるようになろうと挑戦したり、目標を見つけて取り組む経験をする。 ・友だちと競い合ったり、力を合わせてやり遂げたりしながら達成感や満足感を味わう。 ・積極的に園外へ出掛け、自然環境に興味を持って伸び伸びと遊ぶ。 ・文字や数、量や図形で遊ぶことを楽しむ。 ・友だちと共通の目的に向かって、協力する大切さやおもしろさを知る。 ・イメージをした上で作る、描く、試すなどを経験し想像力を豊かにする。 又、共通のイメージをもとに遊びを楽しもうとする。 ・集団生活に必要な決まりを当番活動やグループ活動を通して知る。 ・人の話を聞くことや自分の考えを相手に伝えるように話すことの大切さを知る。 ・季節歌をピアノやCDの音に合わせて歌うことやリズム遊びを楽しむ。 ・経験したことや興味のあることを話し、保育者や友だちと喜んで会話をする。 ・遊びに必要なものやイメージしたものを描いたり、作ったりすることを楽しむ。 ・勝ち負けを経験する中で試行錯誤したり、互いに励まし合いまた挑戦をしようという気持ちを持つ。 ・歌や曲に合わせて、楽器を使ったり自由に動いて楽しさを味わう。 ・園内外の自然に触れ、冬の自然の様子や春の訪れに気付く。 ・自然物や廃材等、様々な素材に触れながら製作をする。			・できないことをできるようになろうと挑戦したり、目標を見つけて取り組む経験をする。 ・寒さに負けず戸外へ出て活発に体を動かす。 ・生活に必要な習慣が身に付き、見通しを持って行動しようとする。 ・文字や数、量や図形で遊ぶことを楽しむ。 ・友だちとルールのある遊びやゲームを楽しみ、いろいろな動きが自信をもってできるようになる。 ・冬の自然現象を知り、他の季節との違いに気付く。 ・集団生活に必要な決まりを当番活動やグループ活動を通して知る。 ・物語や絵本、日々の生活などからイメージを広げ、友だちと一緒にいろいろな表現を楽しむ。 ・同じ目標に向かって、友だちと力を合わせてやり遂げたりしながら、達成感や満足感を味わう。 ・季節歌をピアノやCDの音に合わせて歌うことやリズム遊びを楽しむ。 ・経験したことや興味のあることを話し、保育者や友だちと喜んで会話をする。 ・物の作品を見たり、整理したりして作品を作り上げた満足感を味わい、年長児になる喜びや自信を持つ。 ・歌や曲に合わせて、楽器を使ったり自由に動いて楽しさを味わう。 ・園内外の自然に触れ、冬の自然の様子や春の訪れに気付く。 ・友だちとのつながりを深め、自分の力を発揮し、集団で活動を楽しむ。		
環境構成		・興味を想定してコーナーごとにいろいろな道具や粗材を用意しておく。 ・個々の心の動きをあたたく受容、共感しながら子どもたちの安定した活動へとつながるようにする。 ・初めての活動へ取り組む際や初めての用具・玩具を使う時は、集まりの場を設け伝えていく。 ・挨拶など何気ないやり取りの中で十分なスキンシップを取り、信頼関係を築いていく。			・持ち物の整理や片付けを確認しながら、丁寧にやる大変さを伝える。 ・子ども達と一緒に遊びの安全面を意識したルールを作る。 ・子ども達の様々なアイデアを取り入れながら柔軟に遊びに発展させていけるようにする。 又、難しい部分は一緒に行って表現する楽しさへと繋げていく。 ・挨拶など何気ないやり取りの中で十分なスキンシップを取り、信頼関係を築いていく。 ・栽培や飼育しているカブトムシ等の世話を子どもたち自身がやりたい時に出来るよう道具や			・簡単なゲームや伝承遊びを通して、大勢で遊ぶことを楽しみ、仲間同士での交流を深められるようにする。 ・時には我慢をしたり、折り合いをつけることで楽しく遊べることに気付けるようにしていく。 ・子ども達の様々なアイデアを取り入れながら柔軟に遊びに発展させていけるようにする。又、難しい部分は一緒に行って表現する楽しさへと繋げていく。 ・氷、雪、霜等の冬から春への自然現象の機会を逃さずに取り上げ、季節の移り変わりを体感できるようにする。			・発表会や様々な役割分担を通じてみんなで一つの目標に向かえるようにしていく。 ・お互いの成長を認め合えるようにしながら進級への期待感もてるようにする。 ・友だちとアイディアを出し合う機会を作り、自己主張を認めていくことで、自信が持てるようにする。 ・友だちの遊び、挑戦している姿を伝え、刺激を与えたり、共に目標を見つけていく。 ・氷、雪、霜等の冬から春への自然現象の機会を逃さずに取り上げ、季節の移り変わりを体感できるようにする。				
支援者		・保護者の思いを聞いたり、子どもの様子を伝えたりしながら安心して預けられるよう信頼関係を築いていく。 ・園と家庭で連携して進めたいことを意味づけとともにお知らせする。			・プールや衣服などの準備を整えてもらい、安全にプールや水遊びが行えるよう連携する。 ・保育参加等で園の様子を知り、保育の姿を共通理解できるようにする。（感染状況による）			・行事等での子どもの姿を見てもらい、当日までの努力の過程などを伝え、生長を共に喜ぶ。 ・生活リズムを整え、疲れが残らないよう睡眠の大切さを伝えていく。			・一年間の園に対しての協力で感謝をし、成長を共に喜ぶ。 ・個人面談を通し、成長を伝え、次への期待を持てるようにしていく。 ・送迎時、なるべく顔を合わせて、直接子どもの様子を伝えやり取りを行う。				
食育		・絵本や図鑑等で野菜について知識を得ながら野菜の苗植えの話し合いをする。 ・食事のマナーや箸の持ち方などに気を付け、意欲的に食事をする。 ・積極的に箸を使って最後まで食べてみようとする。			・調理前の食材に興味を持ち、育てた野菜の成長を観察したり、収穫した野菜を調理し食べる事を楽しむ。 ・食器の持ち方や並べ方がわかり、意識を持って正しいマナーで食べようとする。			・食の面からも秋を感じ、季節と食との繋がりへの興味を深める。 ・食前・食後の準備や片付けを行い、食事への関心、意欲を高める。			・日本の伝統的な料理への関心を高める。 ・友だちと一緒に食べることを楽しみ、人との交流を通した楽しい食事の大切さを知る。				